

平成30年度第2回新潟市健康づくり推進委員会会議概要

日時： 平成30年11月12日（月）

午後7時から午後8時30分

会場： 新潟市総合保健医療センター講堂

1 出席者

【委員】

幾野委員、伊藤委員、浦野委員、鹿島委員、後藤委員、小林委員、佐々木委員、鈴木委員、関委員、田邊委員、中林委員、村山委員、葭原委員、和須津委員、渡邊委員

（欠席）柄沢委員、齋藤委員

【事務局】

佐藤保健衛生部長、高野参事（健康づくり政策担当）、高橋保健所長、伊藤保健所健康増進課長、岩谷医監、瀧澤課長補佐、佐野課長補佐、荒井係長、平野主査、羽田野主査、笹谷主査

【庁内関係課】

スポーツ振興課、地域包括ケア推進課、保険年金課、保健衛生総務課、こころの健康センター、保健所保健管理課、保健所食の安全推進課、食と花の推進課、各区健康福祉課、保健給食課、学校支援課

【傍聴者】 1名

2 議題

- (1) 新潟市健康づくり推進基本計画について
 - 新潟市健康づくり推進基本計画（第2次）最終評価
 - 新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）（素案）
- (2) 報告・その他
 - 今後の予定
 - 新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）策定案についてのご意見等

3 概要

<議題1 新潟市健康づくり推進基本計画について>

- 新潟市健康づくり推進基本計画（第2次）最終評価
 - ・ 20歳代女性の朝食欠食が悪化しているが、子どもの朝食習慣と保護者の習慣は関連しており、20歳代の他、30歳代の状況も確認する必要がある。
- 新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）（素案）
 - 第2章について -
 - ・ 出生数のデータは人口の推移の後に掲載するとわかりやすいのではないかと。

- ・ 要支援と要介護では原因、対策が異なるため、要支援になる理由のほか、要介護になる理由についてもデータを加えると良い。
- ・ 要支援、要介護者の指標も入れられると良い。
- ・ 国が示す健康寿命の定義を明確に記載すると良い。
- ・ 区ごとの健康寿命も掲載できると良い。

- 第4章について -

- ・ 健康づくり分野と高齢介護分野の連携がこれからは必要であり、健康づくり計画においても認知症に関する記載、またその指標が必要ではないか。
- ・ 地域で取り組む健康づくり活動において、その進め方等について相談できる行政等の体制があると良い。
- ・ 基本方針1～4のページに各指標を掲載しているが、最後にまとめて掲載するほうが分かりやすい。

- 第5章について -

- ・ 歩数の指標について、現状値が目標を上回っているものについては、評価ができなくなるため、「現状値以上」等とするべき。
- ・ 第2次計画から変更した指標について、さかのぼれる範囲で過去の傾向を把握しておくが良い。
- ・ 現状値と比較して目標が高く実現が難しそうな指標が見受けられる。実行可能な指標を設定する必要があるのではないか。

- 全体 -

- ・ 市民に分かりやすい平易な言葉の使用、専門用語の説明等を加えると良い。

<議題2 報告・その他>

- 今後の予定
- 新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）策定案についてのご意見等

【配布資料】

次第（裏面：座席表）

- 資料1 平成30年度 健康づくり推進委員会委員名簿 兼 委員会出席名簿
- 資料2 新潟市健康づくり推進基本計画 指標一覧（第2次評価、第3次目標値）
- 資料3 新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）（素案）
- 資料4 新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）指標一覧
- 資料5 新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）策定の今後の予定
- 資料6 新潟市健康づくり推進基本計画（第3次）策定案のご意見等